

備 忘 録

2021年会員開発委員会

日時、 場所	2021年8月11日	場所：ZOOM 時間：19:30～
項目	<p>(副理事長)中野貴雄 (委員長) 山本泰士 (副委員長)西田充功 (運営幹事)山元雅里 (委員)宇田万里子 露無大貴 西出徹 小南将大 池内麻梨亜 井本竜也 重松崇之</p> <p>項目：LD道場について</p>	
内容	<p>【上程までのスケジュール】</p> <p>協議1 7月理事会 ※正副理事長会議が7月16日の為、7月9日までに議案書作成 協議2 8月理事会 ※正副理事長会議が8月20日の為、8月17日までに議案書作成 審議1 9月理事会</p> <p>【概要】</p> <p>事業予算：30万円</p> <p>日時：11月7日9時～15時47分</p> <p>場所：河合町 CQB FIELD</p> <p>〒596-0113 大阪府岸和田市河合町975-1</p> <p>決める事・確認する事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サバゲのスタッフは誰がやるか。前半6人（タイムキーパー1、巡回1、クイズ4） 後半2人？（タイムキーパー1名、巡回1？） ・委員会メンバーのチーム分けはいつする？ ⇒先に決める。新入会員で決める ・管制塔にスタッフ入れるか。 ⇒管制塔に入れると確認済。予定通りスタッフ配置。 	

- ・ P R用のルールブックの作成

⇒西川君にお願いしました。

～LD道場 新入会員の意見～

☑前半戦のゲーム内で撃たれた場合の復活方法のクイズの出題形式

- ・ 大橋さん意見

問答式:スタッフ問題出す→答えを聞いて→スタッフが○か×か伝える。

問題の用紙を作るときも2択3択よりも簡単に作れる。

クイズは1回限り。上限をもうけるなら3回まで。

(サバゲーの打たれた数よりクイズ不正解回数が多くなりそうな気も)

- ・ 重松さん意見

フル回答と択一のミックス

問いの性質・内容によって択一がよかったりフル回答がよかったりするから。

例1)「大阪府下でサバゲーができる会場はいくつあるか(13箇所)」→簡単な場合はフル回答で良い。例2)「ルールに違反して拳銃を発砲した警察官が負う責任には何がありますか」→抽象的な問いは回答のバリエーションが色々あるため、択一形式で問うことが妥当。

択一かフル回答かで一律に決めておく必要はなくてもいいと思う。

カードを作る(1枚のカードに1つの問題、その裏に答えの記載があるというイメージ)

シャッフルしやすく管理が容易

(この点、出題は撃たれた方一人一人に対してするものであり、問題を同時に複数の人に知らせる必要はないわけですので、カードの大きさはトランプくらいの大きさが十分)

撃たれた方について基本的には正解するまでフィールドに戻さないこと。

救済策として連続して「3回」不正解を出した方はフィールドに戻す。

- ・ 西川くん意見

フル解答形式を取る。

難易度もバラバラでいいと思う。

不正解の上限は3回(間違う毎にカウント+1)でそれ以上間違えたらゲームオーバーにする。

- ・ つゆむくん意見

完全回答もしくは4択→3択→2択

回答の上限は3問(間違えても復活出来る)

1問目で正解した場合

撃たれた数のみのカウント

(1+0)

2問目で正解した場合

撃たれた数と不正解の回数

(1 + 1)

3問目で正解した場合

撃たれた数と不正解の回数

(1 + 2)

3問目も不正解の場合

撃たれた数と不正解の回数

(1 + 3)

例ですが

この計算方式で

赤チームの

撃たれた回数→7回

1問目で正解→2回

2問目で正解→3回

3問目で正解→1回

3問目不正解→1回

(7 + 8) = 15

白チーム

撃たれた回数→9回 +1

1問目で正解→6回 +1

2問目で正解→2回 +2

3問目で正解→0回 +3

3問目不正解→1回 +4

(9 + 5) = 14

で白チームの勝ち

仮に点数が同じになった場合は

1問目で正解した数→2問目で正解した数で決着は出来る。

回答の上限は3問で設けて、3問間違えるとチームの得点に影響が出るようにする。→座学を聞いてもらえる。

決定事項

・1問目4択⇒2問目3択⇒3問目2択 ※クイズボックスを分ける。

・クイズの上限は3回。露無式採用

撃たれた回数→9回 +1

1問目で正解→6回 +1 (1回で答えれば+0)

2問目で正解→2回 +2

3問目で正解→0回 +3

3問目不正解→1回 +4

$$(9 + 5) = 14$$

- ・4択15問 3択15問 2択15問 全45問作る。座学の各チームで9月委員会で発表。
- ・9月委員会で座学の発表会。

☑後半戦のゲーム内容

- ・重松さん意見

気になる点が赤チームも白チームもともに（勝てはしないけれど）負けない作戦。

旗のある場所にメンバーを固めて迎撃に特化する作戦（「迎撃特化作戦」）をとる可能性がある。旗の周りにメンバー（10人）がいて、四方八方に銃口を向けている場所に誰が飛び込むのか。

両チームとも迎撃特化作戦をとる場合、自陣から（敢えて）動かないことになる。

こういう戦い方は、負けない（極めて負けにくい）という点で合理的だと思うがLDの目的からは遠ざかる戦い方。

→自陣の旗の周りに集まることができない仕組みをルールとして設ける。

例1）旗を複数にする方法（旗をより多く取ったチームを勝ちにする→自陣でジッとしていると負ける） 例2）色分けしたマップを事前に参加者に渡しておき、一定時間が経過するごとに、自陣を含めて立ち入れないエリアを増やしていく方法（強制的に戦闘させる）

- ・西川くん意見

最初に銃を隠しておく。

さらにその中の何個かは玉が入ってない銃も用意しておく。

盾は1チーム1個。

- ・つゆむくん意見

エアガンは10丁ずつ、各拠点に盾1つずつ

守備的にならない為に各拠点に入れる自チームの人数は3名までに絞る。

エアガンを隠したりするのも面白いが戦略性という面において、少し幅が狭くなる。

LDという名目ですので、戦略を練るということを大事にしても良いのではないかな。

- ・西出くん意見

武器を隠すのは手間。

盾を各チーム1個ずつ、銃は人数分。

各拠点に宝（フラッグなど）を置く。

→宝を取れば試合終了。

攻め方、宝の守り方は各チーム戦略を練る。

→拠点に居続けるのはなし、何分間か拠点から出るようにする。

拠点にいるスタッフがストップウォッチなどで時間を計る。

決定事項

- ・銃はマガジン付3丁開始時に配布。マガジンなし7丁配布。
- ・マガジンをフィールド内に置く。
- ・昼休憩時にマガジンの弾数をチームで決めてスタッフに提出。
- ・拠点の守備の上限3人まで。線を引いて入れる境界線を引く。

☑ゲームの勝者に景品を出すか、出す場合の景品の内容等

- ・重松さん意見

ゲームの勝者に景品は出さなくて良い。

ただ、景品を出さないとしても、なぜ景品がないのか、について説明する機会は設ける。

LDの目的は、銃の持つ危険性や銃を手にした人間の心理の移り変わり、人を傷つけることがいかに容易にできてしまうかを参加者に学び感じてもらうこと。

平和であることの有り難みに気づき、また戦争の虚しさを体感してほしいから。

- ・つゆむくん意見

メンバーのお店で使える商品券

ただし当日の同チームのメンバー何人以上同行で使えるもの。

→懇親会的な感じで親睦も深まると思うから

※緊急事態宣言が解除される事が大前提

- ・西出くん意見

あってもなくてもどちらでもいい。

コロナ禍で飲食店の食事券はやめておくほうがいい。

仮に損得がでてしまう場合は、

JCBギフトカード

クオカード

Amazonギフトカード

楽天ポイントカード

Google Playカード

など、各業種にとらわれない景品で尚且誰でも使いやすいのがいいのではないかな。

決定事項

- ・景品あり。
- ・前半戦で1個。後半戦で1個賞を用意する。縁たく家 てっばんセサミ 各15,000円
- ・理事長賞1個。理事長の自腹。
- ・小南君が理事長にお願いする。

- ・役割分担

決定事項

・座学の登壇者・サブ・スライド係は決める。

・LD動画撮影

決定事項

・西出君の返事待ち。

・協賛してもらえれば頼む。無理なら諦める。

・9月1日の委員会に決める。

2. 委員会開催日について

第一水曜日

日時：9月1日（水）

場所：未定

※備考 8月 正副 8月20日 理事会 8月31日

9月 正副 9月10日 理事会 9月28日

--	--